

平成30年度教科書選定に係る基本方針

埼玉県立滑川総合高等学校

本校は総合学科であり、生徒の多様な進路希望に応じるべく、総合選択科目を中心にしたモデルプランを提示するとともに、各教科・科目の指導内容を明記した履修の手引き（シラバス）を作成している。

今年度の重点目標の一つに「一人一人が目的意識を持った学習活動による学力の向上と定着」を挙げている。生徒の学力に幅があることや学習意欲に差があることが課題である。基礎基本の確実な定着はもちろんのこと、思考力・表現力・判断力を育み、意欲的な学習習慣の確立に向けて指導方法の改善を図るとともに、個に応じた指導を行う中で生徒の主体的な取組を促している。

特に選択科目においては、必然的に少人数となるため、きめ細やかな指導体制で、知識注入に偏らず多面的・多角的な見方が身につけられるよう取り組んでいる。その方針は、一斉展開である必修科目においても継承されている。

上記を踏まえ、下記のとおり、教科書選定の基本方針を設けている。

- 基礎的・基本的事項が確実に定着できる。
- 視覚的に整っており、学習意欲が高まる。
- 基礎から応用まで広く幅を持たせた学習が可能である。
- 生徒自身が課題意識を持って取り組める。
- 教科書で完結せず、発展的な学習が可能である。
- 卒業後の社会生活と関連ある学習内容を有する。